

指導計画（全11時間）

	学習の流れ	指導上の留意点
第一次 2h	<p>1) 学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文を読み、初発の感想を書く。 <p>2) 初発の感想を交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初発の感想は「何でもよい」であると抽象度が高いため焦点を絞って文章の内容や形式についての疑問や納得などの感想を書くように伝える。 ・交流する際は、グループトーク→全体交流の順で交流する範囲を広げていく。 ・交流する中で、「永遠のごみ」という題名にも着目することで、児童の生活経験から得ている既有知識を全体で共有する。
第二次 4h	<p>3) 本文を「序論—本論—結論」の3つに分ける。</p> <p>4) 「本論」が3つに分けられていることを捉えた上で(仮に本論①・本論②本論③とする)、各々が何について書かれているかをグループ毎で読み取る。</p> <p>5) 3人班に戻り、自分の担当した部分(本論①・本論②・本論③)をどう読みとったのかを伝える。</p> <p>6) 要旨を捉える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「序論—本論—結論」の役割をおさえてから3つに分けるように指導する。 ・3人班の一人ひとり(仮にAさん・Bさん/Cさんとする)が、3つに分けた本論の一つひとつをそれぞれ担当する。(Aさん=本論①/Bさん=本論②/Cさん=本論③)一人では読み取れない児童もいるので、同じ部分を担当する級友と読み合う。 ・3人班で交流する際は、読み取った要点だけ伝えるのではなく、本文からどういう読み取り方をしてその「読み取り」になったのかを伝えるようにするよう指導する。 ・要旨を捉える際は、「本論」との繋がりを意識できるよう板書で繋いでいく。
第三次 5h	<p>7) 2つの資料を読み取り、本文との関係性を捉える。</p> <p>8) プラスチックごみ問題に対して自分たちに何ができるかをグループ毎で考える。</p> <p>9) 10) ポスター等を作成する。</p> <p>11) 学んだことの見聞文を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次時以降の活動を見越して、筆者の主張と資料の内容とがどのように関連しているかを全体で確認しながら読み取っていく。 ・自分たちの校区のコンビニやスーパーなどにグループ毎で作成したポスター等の成果物を貼りだしてもらいように伝える。 ・何をどのように伝えるかをシンキングツール等を使用して考えを整理してから書くように伝える。 ・